



2024年2月6日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 坂口 陽彦
(TEL. 03-6732-8100)

企業・団体向け「セルフケア」健康見守りサービス「Virgo」の事業化

— 世界初 OPD 生体センサー搭載のスマートリングで従業員・利用者の健康改善をサポート —

当社は、スマートリング向けの生体センサー及び同センサーを搭載したスマートリングを開発しており、この度新たに企業・団体向けの健康見守りサービスを開始することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

世界で初めてフレキシブル基板上に形成した有機光検出器（OPD、Organic Photo Detector）（以下「OPD センサー」といいます。）を搭載したスマートリング^{*1}とスマートフォンアプリ、クラウドとの連携により、心拍数、血中酸素ウェルネス、睡眠時間、歩数、消費カロリーなどの日常生活における健康管理に必要なライフログを自動的に取得することが可能です。併せて、OPD センサーを採用したことでスマートリングとして身に着ける際に重要となる装着感を向上させています。さらに、「セルフケア」健康見守りサービス Virgo では、スマートリング、スマートフォンアプリ、クラウドの連携によって日々の健康状態を把握できるだけでなく、保健師等の有資格者によるアドバイスや健康に関する情報を提供することにより、利用者の健康意識の向上や行動変容のサポートを行います。

なお、Virgo の導入を希望される企業・団体向けに、2024年2月よりトライアル提供を開始いたします。

1. 背景

近年、少子高齢化や人口減少により、労働人口の減少や年金、医療費などの社会保障費の増大が社会課題となっています。日本では高齢者の人口が 2040 年にピークを迎える^{*2}ことから、これらの社会課題は「2040 年問題」と呼ばれ、喫緊の対策が求められています。こうした中、人々の日常生活での心身の状態を可視化し、未病段階での健康改善に向けた行動変容を促すことは、課題解決への重要なアプローチであると考えられます。

当社は、技術による社会課題解決に取り組む過程で、世界で初めてフレキシブル基板上に形成した OPD センサーを搭載したスマートリングを開発いたしました。さらに、スマートリングを利用した健康見守りサービスとして、日常生活における健康管理に必要なライフログの自動的取得と保健師等の有資格者によるアドバイスを組み合わせ、健康意識の向上や行動変容のサポートを行う Virgo の事業化を決定いたしました。5年後 100 万人のアクティブユーザー獲得を目標に、未病段階での健康改善行動が広まることを目指します。

2. 「セルフケア」健康見守りサービス「Virgo」の構成要素及びサービスイメージ図



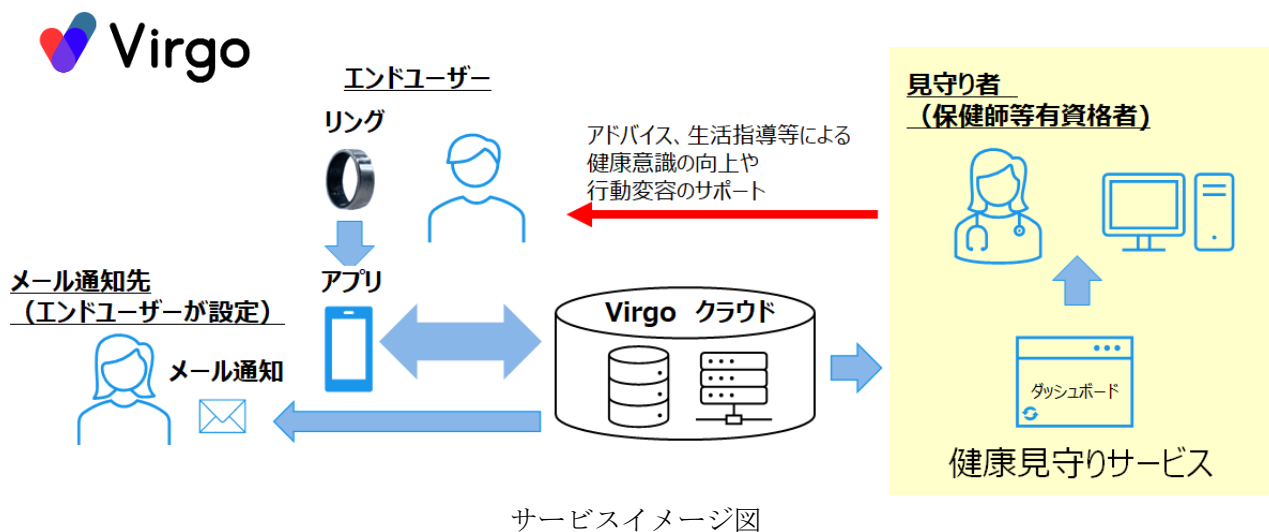
スマートリング向け OPD センサー
寸法：24mm x 5mm 厚み 150μm



Virgo スマートリング



スマートフォンアプリ画面例



サービスイメージ図

なお、Virgoのスマートリング、スマートフォンアプリ、クラウドは同日発表の国立大学法人岡山大学（学長：那須 保友）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）、株式会社ヴェルト（代表取締役CEO：野々上 仁）、一般財団法人両備ハッピーライフ両備健康づくりセンター（代表理事：小嶋 光信）との共同研究においても使用を予定しております。


*ライフログとは

日常生活の歩数、脈拍、睡眠、食事などの情報

出典：第3回新事業創出WG事務局説明資料（今後の政策の方向性について）. 経済産業省 ヘルスケア産業課, https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/kenko_iryu/shin_jigyo/pdf/003_02_00.pdf, P.7

※1 2024年1月現在当社調べ

※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(2023年4月26日公表)より
https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp

 ロゴ及び Virgo は、株式会社ジャパンディスプレイの登録商標です。

Virgo 紹介映像

[「セルフケア」健康見守りサービス Virgo](#)